


(シラバスNo.26)

科目名	公共哲学特論	科目コード	17P-S5	
			21P-K6	
	科目群名	(2017年カリキュラム) 基幹科目 (2021年カリキュラム) 関連科目		
	必修/選択	(2017年カリキュラム) 選択必修 (2021年カリキュラム) 選択		
	Advanced Seminar on Public Philosophy	教職	-	
担当教員	山脇 直司	単位数	2	

【授業概要】

2022年度から高校の公民では「現代社会」に代わって「公共」が新科目となる。しかし公共とはそもそも何だろうか？この問いから出発しつつ、授業では、「善き公正な社会を追求しつつ、現下で起こっている切実な公共的諸問題を市民と共に追求する実践的学問」としての公共哲学を、高い倫理観および国際的視野をもつ専門職業人を育成するという視点で追求していきたい。

【授業の到達目標】

- 1 英語のパブリックの意味や、日本語の公共の概念を明確に理解しつつ、教育における公共哲学の重要性を理解する。
- 2 滅私奉公や滅公奉私に代わる活私開公（かっしかいこう）型の教育論や福祉社会論を理解する。
- 3 平和、正義、人権、福祉、医療、環境、などの国家を超えた公共的価値について理解する。
- 4 福島原発事故や現下の地球的気候危機に対して、環境正義・気候正義や科学技術倫理を再考し、「人間の安全保障」という考え方や、SDGsの批判的解釈と実践をめざす。
- 5 公共哲学的観点からメディアと民主主義、ポピュリズムなどを考える。
- 6 人と国際社会の共生を可能にする平和教育とグローバルの概念を学ぶ。
- 7 公共哲学的視点からスポーツ倫理と体育を考える。
- 8 教養教育（リベラルアーツ）の在り方を統合知という観点から再考する。

【授業の形態】

メディア授業の実施【あり】

<授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	◎	公共哲学の定義や諸潮流、国家を超えた公共的諸価値を紹介・議論しつつ、教育・福祉・医療・環境・メディア・国際社会・スポーツなどの現場に与えるインパクトなどを体系的に講義する。そして、その際のキーワードの一つは「グローバル」であるとの私見について、受講生の方々と議論する。
グループワーク・質疑	○	受講生それぞれの関心に応じて、特定のテーマや課題を追究し、質疑応答を行う。
演習	○	重要なテキストのエキスについて議論し合う。
プレゼンテーション	○	受講者の関心に応じて行ってもらう。
制作		
その他 ( )		

【授業計画】

回	内 容
1	公共哲学は何を目指すか
2	公共哲学の人間観と教育論
3	公共哲学の福祉社会論
4	国家を超えた公共的価値（平和、正義、人権、福祉、医療、環境等）
5	正義論の現代的展開、人権の思想史と現在
6	人権と公共の福祉の両立への道——コロナ禍の現状に即して
7	人間の安全保障論、環境正義、気候正義
8	社会的共通資本とSDGs
9	メディアと公共性
10	民主主義とポピュリズム論、政治的リーダーシップ論
11	平和教育と国際共生論
12	グローバル公共哲学の概念
13	公共哲学とスポーツ倫理
14	公共哲学と教養教育
15	まとめ
試験	
【履修上にあたっての準備】 教科書を購入し、熟読しておくこと。教科書を持参すること。	
【授業外学修（予習・復習）】 初回までに教科書をよく読み（予習）、講義終了後はその内容を社会の現場に照らしてよく考え（復習）、次回に行われるテーマに相当する資料や教科書を再読しておくこと（予習）。	
【評価方法】 「授業内で課すレポート評価」（50%）「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価する。	
【教科書】 山脇直司 2011『公共哲学からの応答——3.11の衝撃の後で』筑摩書房 山脇直司 2004『公共哲学とは何か』ちくま新書 山脇直司 2008『社会とどうかかわるか』岩波ジュニア新書 山脇直司 2019『共生社会の構築のために—教育・福祉・国際・スポーツ』星槎大学出版会 山脇直司 2021「コロナ禍と共生を多角的に学問する」「なぜ今、グローバルコミュニケーションなのか」 （星槎大学紀要『共生科学研究』No. 16に所収）	
【参考図書】 山脇直司（編）（2015）『科学・技術と社会倫理』東大出版会（2018）『教養教育と統合知』東大出版会 山脇直司（1992）『ヨーロッパ社会思想史』東京大学出版会、（2008）『グローバル公共哲学』東大出版会、（2009）『社会思想史を学ぶ』ちくま新書 Naoshi Yamawaki（2016） <i>Glocal Public Philosophy</i> , Lit Verlag マイケル・サンデル（2011）『これからの正義の話をしよう』早川書房、 ジョン・デューイ（2014）『公衆とその諸問題』ちくま学芸文庫 アマルティア・セン 2017『グローバリゼーションと人間の安全保障』ちくま学芸文庫 宇沢弘文（2000）『社会的共通資本』岩波新書 南博、稲葉雅紀（2020）『SDGs——危機の時代の羅針盤』岩波新書	